

代数序論 A (第 6 回 ・ 2009/05/21) 小テスト

学籍番号		氏名	
------	--	----	--

[1] フィボナッチ数列 $\{F_n\}_{n \in \mathbb{N}}$ とは, $F_1 = 1, F_2 = 1,$

$$F_n = \boxed{}, (n \geq 3)$$

で定まる数列であり, 各項 F_n は n 番目のフィボナッチ数といわれる.

数列 $\{F_n\}_{n \in \mathbb{N}}$ の最初の 20 項を書いてみると, 以下の様になる:

1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89, 144, 233, 377, 610, 987, 1597, 2584, 4181,

[2] $x^2 = x + 1$ を満たす 2 つの実数 $x = \alpha, \beta$ は

$$\alpha := \boxed{}, \quad \beta := \frac{1 - \sqrt{5}}{2}$$

であり, 特に, 比 $1 : \alpha = 1 : \boxed{}$ (小数点以下 2 桁まで記入) は黄金比と呼ばれている.

[3] 0 以上の整数 $n \in \mathbb{N} \cup \{0\}$ に対して, n の階乗 $n!$ は以下で定義される:

$$\begin{cases} 0! := \boxed{}, \\ n! := \boxed{}, \end{cases} (n \in \mathbb{N})$$

[4] 0 以上の整数 $n \in \mathbb{N} \cup \{0\}$ と $0 \leq k \leq n$ に対して,

$$\binom{n}{k} := \frac{n!}{k!(n-k)!}$$

を二項係数という. いわゆる二項定理とは, 自然数 $n \in \mathbb{N}$ に対して,

$$(x + y)^n = \sum_{k=0}^n \binom{n}{k} x^{n-k} y^k$$

が成り立つことであり, 例えば,

$$(x + y)^7 = \boxed{},$$

$$(x + y)^8 = \boxed{}$$

となる. また, 二項定理の応用として, 以下の等式が得られる.

$$\sum_{k=0}^n \binom{n}{k} = \boxed{}, \quad \sum_{k=0}^n (-1)^k \binom{n}{k} = \boxed{}.$$